



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄 主日勤務 執事 クララ 佐久間恵子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250

E-mail:st-andrew.tko@nssk.org HP:www.st-andrew-tokyo.com

大斎節第3主日 (紫) 2026年3月8日

礼拝案内

- † 午前7時30分 聖餐式
(午前7時25分 礼拝奉仕者の祈りの集い)
司式：執事 佐久間恵子
説教：執事 日高馨輔 (代読)
聖歌 372 392 408
- † 午前9時15分
こどもとともにささげる礼拝
司式・お話：執事 佐久間恵子
聖歌 372 392 408
- † 午前10時30分 聖餐式(みことばと陪餐)
(午前10時10分 礼拝奉仕者祈りの集い)
司式：執事 佐久間恵子

入堂聖歌 372

- 参入 1頁(162頁)
懺悔と赦しの祈り 1頁(19頁)
清めの祈り 1頁(162頁)
キリエ 3頁(162頁)
特祷

み言葉

- 第一朗読 出エジプト記 17章1-7節
詩編 第95編
第二朗読 ローマの信徒への手紙 5章1-11節

福音書前聖歌 126

- 福音書 ヨハネによる福音書 4章5-42節
説教：執事 日高馨輔
ニケヤ信経 9頁(166頁)
代祷(週報2面) 12頁(168頁)

聖餐

- 平和の挨拶 15頁(171頁)
奉献聖歌 392
奉献 15頁(172頁)
陪餐 24頁(180頁)
陪餐聖歌 384
感謝 28頁(182頁)
祝福 28頁(183頁)
派遣
退堂聖歌 408

- † 午後5時 夕の礼拝
司式：執事 佐久間恵子 聖歌 317
詩 34 エレ 6:9-15 ロマ 8:1-10

礼拝参加にあたって

- ※礼拝は教会ホームページより動画配信されています。
(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)
※手洗い場や消毒液をご活用ください。マスクの着用をおすすめしますが、状況・体調等に応じて各自ご判断ください。
※聖卓のろうそくの点灯中、礼拝前後(10分程度)は黙想の時間です。聖堂内で静粛に、会話や挨拶もお控えください。
※礼拝中の席の移動はお控えください。平和の挨拶もそれぞれの席からいたします。
※献金・信施は、礼拝中にまわってくる献金袋に、または受付台付近の献金箱におささげください。
※聖餐式での陪餐の際、案内に従って中央通路を左右2列で聖卓に進みます。洗礼を受け、陪餐の許しのある方は、口または手のひらで分餐奉仕者からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。祝福を希望される方も同様に進みます。
※聖公会以外の教会で洗礼を受けて、聖餐に与っている方の陪餐(聖体拝領)を許可し歓迎します。
※陪餐後は、席に最も近い通路部分を通って席に戻ります。
※聖堂内での移動が難しい方、配信に映りたくない方は、分餐奉仕者がお席あるいは聖堂後方まで参りますので、遠慮なくお知らせください。
※体調や気分の不調のとき、また何かわからないことなどありましたら、遠慮なく受付案内の係までお声かけください。

本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう
※ () 内の斜体は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会・全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会 (ステパノ 卓志雄司祭、
クララ佐久間恵子執事、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、
教会に関わる諸団体

[東京教区 (フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

渋谷聖公会聖ミカエル教会、

城南教会グループ (協議会、牧師協議会)

[東日本宣教協働区 (北海道・東北・北関東・東京教区)]

主教 ヤコブ八代崇 主教 逝去記念日 3月12日 (1997年)

[日本聖公会 (首座主教 ダビデ 上原榮正 主教)]

神戸教区のすべてのはたらき

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

ハイファ 聖ヨハネ・聖ルカ教会

[全世界の聖公会]

エルサレム及び中東聖公会

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

災害被災地の復興・再生のため

ACT Alliance (アクトアライアンス)

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの主教

フランシスコ・ザビエル

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに

一致させ日々主の栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに、

ウクライナや中東、またイランに対するアメリカとイスラエルの攻撃によって混乱のただなかにある地域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びとに知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカウト東京港第14団、ガールスカウト東京都第138団、入信を希望している人びと、洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな理由によって教会から離れている人びと、この地域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと、3月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、ことに、聖公会生野センター (総会決議)、聖公会東京311ボランティアチーム (聖公会東京311ボランティアチーム)、いのちの電話 (一社) いのちの電話、(特非) 東京多摩いのちの電話、(特非) 東京英語いのちの電話、女性の家 HELP (公財) 女性の家 HELP)、ぶどうのいえ (守口ぶどうのいえ、京都ぶどうのいえ)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]

世界各地の震災の被災者、

世界各地の自然災害の被害のため困難な状況

ある人びと、住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、戦争や暴

力、犯罪や差別に苦しむ人びと

を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、
主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、それぞれが
覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人

を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ
さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら
れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、
わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国
の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト
によってお願いいたします アーメン

【大齋節プログラム】

テーマ：原点回帰

— 今年も礼拝について学び合う

3月1日(日) ← 終了

- 礼拝直後

「聖餐式における役割の確認①」卓志雄司祭

3月15日(日)

- 礼拝直後

「聖餐式における役割の確認②」卓志雄司祭

- 13時予定 礼拝奉仕団体の研修

アッシャー、礼拝当番

3月22日(日)

- 礼拝直後

「聖餐式における役割の確認③」卓志雄司祭

- 愛餐会後 ① 礼拝奉仕団体の研修

サーバー、信徒奉事者

② 棕櫚の十字架作り

<お知らせ>

◇ 主の十字架を覚え、自らを省み、神さまとの関係
を新たにす大齋節を過ごしています。教会の祈
りに共にあずかりながら、復活日の喜びへと向か
う歩みを、心を合わせて続けてまいりましょう。
「大齋節 復活日 礼拝・行事のお知らせ」をどう
ぞご確認ください。

◇ 本日、愛餐会はありません。また次主日は第3主
日ですが、愛餐会はお休みです。大齋プログラム・
「礼拝奉仕団体の研修」は、13時頃から始める予
定です。

◇ 【聖書を学ぶ会】毎月第1水曜日 13時30分よ
り、「聖書を学ぶ会」を開催しています。来月は
4月1日(水)です。現在、土井かおる著『よく
わかるキリスト教』(PHP 研究所、2004年)を
テキストとして用い、聖書、キリスト教の歴史、
教理、ならびに現代における課題について学びを
深めています。多くの方の参加を歓迎するととも
に、この学びの 때가、より豊かなものとして与え
られることを願っています。

◇ 聖アンデレ教会広報のYouTube チャンネル
「今、福音に聴く」では、マタイによる福音書
の最終回を配信しています。今回のメッセージ
は、当教会の卓志雄司祭がお届けします。次回
はヨハネによる福音書を予定しております。
どうぞ今しばらくお待ちください。ご視聴は
<https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0>
または下のQRコードからお願いいたします



広報チャンネル



インスタグラム



ホームページ



Facebook

聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配
信中です。また、フェイスブックページから折々の教
会の様子やお知らせをお伝えしています。上のQRコ
ードからご覧ください。

「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を 分担しませんか

み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴
らしい恵みです。ご自分の受洗や堅信の記念日、誕
生日、結婚記念日、ご家族の逝去記念日などを迎え
る主日に是非ご奉仕ください。ご希望の方は、聖堂
受付付近の表にお名前をご記入ください。

本日・今週の予定

3月8日(日) 大齋節第3主日 (A年)
7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式 (みことばと陪餐)
17時 夕の礼拝

9日(月) 7時半礼拝
王下 5:1-15 詩 42:1-2,43:1-4 ルカ 4:24-30

10日(火) 7時半礼拝
アザ 2, 11-20 詩 25:4-11 マタ 18:21-35

- ・14時 埋葬式 (青山墓地)
- ・19時 宣教教育ミーティング

11日(水)
申 4:1, 5-9 詩 147:12-20 マタ 5:17-19

12日(木) 7時半礼拝 高橋主教
エレ 7:23-28 詩 95:1-2, 6-11 ルカ 11:14-23

13日(金) 7時半礼拝
ホセ 14:1-10, 詩 81:6-10, 13, 16 マコ 12:28-34

14日(土) 7時半礼拝
ホセ 5:15-6:6 詩 51:1-2, 16-19 ルカ 18:9-14

- ・15時 マイノリティ宣教センター コンサート
国際人種差別撤廃デーを覚えて NO!RACISM!ひろば

15日(日) 大齋節第4主日
7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式
聖歌 416, 370, 528, 257, 530
サム 16:1-13 詩 23 エフェ 5:8-14 ヨハ 9:1-41
17時 夕の礼拝 聖歌 369
詩 19,46 エレ 14:1-9,17-22 ロマ 8:11-25

- ・大齋プログラム
 - 礼拝直後「聖餐式における役割の確認②」
一卓志雄司祭
 - 13時予定 礼拝奉仕団体の研修
アッシャー、礼拝当番
 - 教会委員会

今週のメッセージ

「永遠の水」

皆さんはイタリアのティボリにある「エステ荘」をご存じでしょうか。そこには百を超える噴水があり、今もなお清らかな水を噴き上げています。

フランツ・リストのピアノ曲「エステ荘の噴水」は、「巡礼の年 第三年」に収められたリスト晩年の傑作です。私がまだ音楽学生だった頃心血を注いで練習した曲でもあります。リストといえば「ピアノの魔術師」と呼ばれ、超絶技巧を駆使する華やかなピアニストとしての姿が有名ですが、晩年の彼はカトリックの低次聖職位を受け「アベ・リスト」と呼ばれる修道者としての道を歩んでいました。「エステ荘の噴水」は、印象派の先駆けとも言われる美しい和音の中で、噴き上がる水が陽光を浴びて輝く様子が描かれます。しかし、この曲は単に景観を描写したものではありません。リストはこの楽譜の中に、ラテン語でヨハネによる福音書4章14節の言葉を書き記しました。

「しかし、私が与える水を飲む者は決して渇かない。私が与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水が湧き出る」。

本日の第一朗読(出エジプト記)では、荒野を旅するイスラエルの民が「水がない」とモーセに不平を漏らす場面が描かれます。彼らの渇きは切実でした。その渇きはやがて「主が私たちの間におられるのかどうか」という神への疑いへと変わります。本日の福音書でイエス様が出会われたサマリアの女もまた、深い渇きの中にありました。五度の結婚に破れ、世間の目を避けて生きる彼女の心は、愛への渇き、居場所への渇き、自分を肯定できない絶望という名の荒野を彷徨っていたのです。

リストのこの曲を思い返すと、音楽的に非常に重要な特徴があります。それは、曲の大部分がピアノの高い音域のトレモロやアルペジオで書かれていることです。これは、天から降り注ぐ光と、その光を受けて空中を舞う水飛沫を現しています。そして、曲の終盤に向けて、力強く、そして確信に満ちた和音へと変化していきます。それは、ローマの信徒への手紙が語るように「私たちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちに注がれている」というゆるぎない希望の響きです。

私たちは、サマリアの女のように、何かで自分を満たそうとして、何度も同じ井戸(世俗的な満足)へ通い続けていないでしょうか。イエス様は、私たちが必死に抱えているその「水瓶」を一度置いて、ご自身が差し出す「泉」に身を委ねるよう招いておられます。

私たちが抱えるあらゆる「渇き」を主の前に差し出しましょう。主はすでに、井戸の傍らで、あなたを待っております。
(日本聖公会東京教区退職執事 日高馨輔)